

第2回「ナンバープレートのあり方に関する懇談会」議事概要

1. 日 時 平成23年12月8日（木） 16:00～18:00
2. 場 所 国土交通省（中央合同庁舎第3号館） 4階 幹部会議室
3. 委員からの主な発言

（1）ご当地ナンバーについて

- 地元議会の同意を得て都道府県から申請を上げたという経緯があるにもかかわらず、アンケートで約3割の回答者が「効果なし（不明）」としているのはある意味驚き。
- ご当地ナンバーの効果を積極的にとらえると、地域を巻き込むようなネーミングの設定が鍵となるのではないか。
- ご当地ナンバーの効果については、意見が分かれるところだと思うが、アンケートの結果を見る限り、対象地域を拡大しても、現状以上の効果はなかなか期待できないのではないか。
- 効果を求めると、目的達成のために一定の強制力が必要となるのではないか。
- ナンバープレートのデザインや表示内容に自由度を持たせ、必須でない表示内容としてご当地的な表示を認めてはどうか。また、有料化することで自由度を高めることができるのではないか。
- 前回ご当地ナンバーの導入を検討したときは、地元自治体に大変な熱意があった。
- ご当地ナンバーの効果として、定量的な効果が把握しにくい一方で、自動車ユーザー側に車両管理システム改修等の負荷が発生することも推測される。
- ご当地ナンバーを推進していくのであれば、ナンバーの枯渇問題、管轄制度の見直し、ワンストップサービスの拡大等との抱き合わせを前提にすべき。
- アンケートについて、解釈の仕方がいろいろあるが、効果がなかったとしているのは良くないと言っていることを意味している訳ではなく、ご当地ナンバーを生かしたいと思っているかもしれない。ご当地ナンバーは、基本的には拡大していくという方向で良いのではという印象。
- 観光とか地域振興となると定量的に評価するのは難しいが、アンケートで7割の回答者がポジティブにとらえているのであれば、積極的に評価して良いのではないか。

- システムについては、長期的な費用との兼ね合いで考えた方が適正なコストと便益との比較になるのではないか。
- 地名だけでなく、川の名前などもご当地ナンバーとして考えられるのではないか。また、北海道、四国、九州にはご当地ナンバーがないが、観光振興という目的であれば、もう少しご当地ナンバーがあっても良いのではないか。
- ご当地ナンバーの導入に、一定の効果はあったかと思うが、高い効果が期待されるところは既に導入されており、一体感や連帯感、自治体の連携、観光振興の目的であれば他のやり方もあるのではないか。これから導入しようとするところは、期待する効果とコストで考えると、別のやり方も含めた検証が必要。
- ナンバープレートは、管理当局が管理するためのものでもあり、長期的な視点で考えると、管理していくためのコストが安くなるようなシステムへの抜本的な対策を講ずるべきではないか。
- 地名をある程度自由に表示するようなやり方も考えられるが、ナンバープレート読み取り装置への影響があるというのであれば難しいか。
- ナンバープレートに地域名を表示することで、違和感が生じている面があるのではと思うが、地域名が表示されている方が事件や事故が起きた時に一般市民にとってナンバーを判別し易いという効果はある。
- ご当地ナンバーの導入により、ユーザー負担が増加する面もあるが、希望する者のみご当地ナンバーとし、その場合はユーザー負担を重くするという選択肢もあるのではないか。
- ナンバープレートを変更する際に、ユーザー負担が一番大きい部分は、封印のため自分で自動車を運輸支局に持っていかないといけないことである。ご当地ナンバーを選択するということは、それなりに表示された地域名に愛着があると思うので、住所が変わってもナンバープレートを変更しなくて良いようにすべき。
- 事件や事故が起きた時に、目撃者などはナンバープレートの情報をどの程度認識しているのかということも検証すべき。また、ナンバープレートの変更が必要となる転居の頻度はそれほど多くないようにも思え、ご当地ナンバーが増えてもユーザー負担はあまり増加しないのではないか。

(2) 希望ナンバーについて

- 同じナンバーを再利用するとなると、混乱をきたすとか、不正な利用に使われる等の問題がある。
- そもそも希望するナンバー制に社会的なニーズがあるのかどうかというところが問題。
- 希望ナンバーについては、社会的な意味はあるのかということになると、多分ないのではないか。
- 希望ナンバーを強く希望する人がいるのであれば、希望ナンバーの場合の交付手数料をもう少し高くしても良いのではないか。
- もっと車のデザインを良くしたいというニーズだとすると、希望ナンバーというよりむしろナンバープレートの形の変更や表示内容の自由度を高めるような対応によるべきではないか。
- 特定の条件の下でナンバーの再利用を認めることが考えられないか。
- 事件や事故が起きた時でも、ナンバープレートの表示内容のうち地域名や4ケタの一連番号を覚えるのが精一杯ではないか。そうした中で、300とか500といった3ケタの分類番号の下2ケタにアルファベットを使うことが考えられるのではないか。
- 民間企業でも、業務上保有しているナンバープレート情報は、システムで管理・検索しているのが一般的であり、ナンバープレートの数字などを1ケタ増やすとかなりの費用が発生する。
- 漢字よりもむしろアルファベットを用いた方が、子どもにとってもナンバープレートの情報を読み取り易いのではないか。